

教育長からのメッセージ

新島村教育委員会教育長

前 田 裕 二



新島村は、新島と式根島の二島からなる村で、島しょ地区では小笠原村と並び、二島一村の特色を持っています。新島・式根島にはそれぞれ保育園・小学校・中学校があり、新島には都立高校も設置されています。そのため、式根島の子どもたちは高校進学時に連絡船で新島へ通うか、内地の高校へ進学することになります。

新島村では、「連携型一貫教育」を学校教育の柱として推進し、40年以上にわたり研究を続けています。保育園から高校までの教員が協力し、授業研究や交流授業を通じて「連続した学び」と「生きる力」を育む取り組みを実施しています。さらに、運動会・作品展などの行事も連携して行い、教育の一体感を醸成しています。これらは、子供たちの成長だけでなく、教員の指導力向上や交流促進にも寄与しています。

特に、高校のない式根島では、子どもたちが中学卒業後に島を離れるケースが多いため、平成30年に「小中一貫校・式根島学園」を開園させました。連携授業の深化、系統的な学習プログラムを通じて、9年間の継続的な教育を実現しています。

また、新島村では令和6年度から「地域学校協働活動」を推進し、地域全体で学校を盛り上げる取り組みに着手しました。保護者や地域が学校運営に協力的で、教育委員会とも連携しながら、先生方の教育活動を積極的に支援する体制を整えつつあります。まだ完全な形ではないものの、より充実したサポートを目指して取り組んでいるところです。学校・地域・保護者が一体となり、子どもたちの学びを支えていく環境づくりを進めています。

新島村では、「連携型一貫教育」と「地域学校協働活動」に積極的に関わる先生方を求めています。校種を越えた協力や交流の機会が多く、教育者としての資質を磨く貴重な体験ができる環境です。公募で着任した先生方は意欲的で、島の教育に貢献しており、新島村はそのような先生方の応募を歓迎しています。

島の生活は内地と比べて地域が狭いため、時にはストレスを感じることもあるかも知れません。しかし、前向きな思考で受け止め、心身ともに強い方であれば、島の教育環境に適した人材となるでしょう。新島・式根島の教育に関心を持ち、子どもたちに愛情を持って向き合える先生方の応募をお待ちしております。

